

平成26年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力 「ハッピー・グローブ公立高校校舎改修計画」引渡し式

2017年2月16日、中野大使は、ポートランド県のハッピー・グローブ公立高校にて行われた、平成26年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ハッピー・グローブ公立高校校舎改修計画」の引渡し式に出席し、ハッピー・グローブ公立高校理事会アブリキアン会長に改修された2校舎の寄贈をしました。

同校にある主要校舎のうちハーベイ棟とC棟は、それぞれ1923年と1960年に建てられ、毎日利用されている古い建物ですが、電気系統の不具合、屋根や壁からの浸水、窓や戸がない等老朽化が進んでいました。このままの状態では、教育に支障がでるばかりでなく不慮の事故も起こりかねないため、このプロジェクトで同校舎を改修し、生徒達に適切な教育環境を提供することを目指しました。

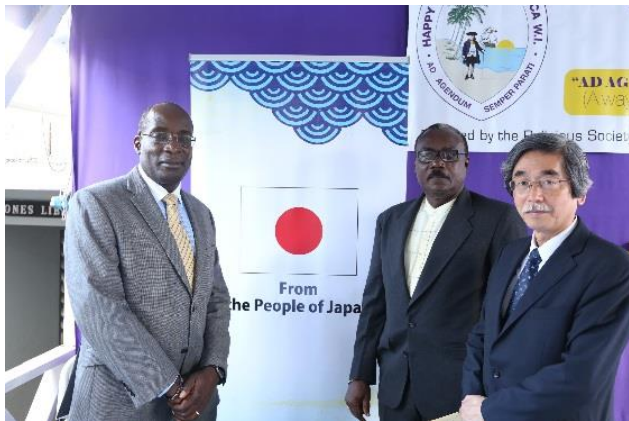
当日の署名式へは、リード教育・青年・情報大臣、トンプソン・ポートアントニオ市長、同校関係者など約100名が出席しました。リード教育・青年・情報大臣をはじめとする来賓、学校関係者たちは、日本の援助への謝意を述べ、新校舎を大切に使い、生徒達が地域やジャマイカに貢献できる人材に育つよう更に努力していきたいと述べました。中野大使は日本政府はジャマイカにおいて教育分野の支援を重視しており、今後もジャマイカの政府と協力しながら支援を続けていく方針である旨、また、今後とも二国間の関係を強化すべく最大限の努力をしていきたい旨を述べました。



寄贈校舎の引渡し



ハッピー・グローブ公立高校の生徒とともに



バナーの前で記念撮影をする大使、
リード大臣、トンプソン市長



改修後の校舎/C棟



改修後の校舎/ハーヴェイ棟